

議 事 録

会議名 令和6年度 第2回国見町総合計画審議会
日 時 令和7年2月18日（火） 10:00～11:39
出席者 20名（欠席2名）

1. 開 会（司会：企画調整課長）

2. 町長あいさつ

委員のみなさまにおかれましては時節柄、何かとお忙しいところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。また、常日頃から町政全般にわたりご協力をいただいておりますこと厚く御礼を申し上げます。さて、町を取り巻く状況は、少子高齢化、人口減少など厳しい状況が続いております。しかしながら国見町は、恵まれた資源や歴史があり、これらを活かして来年度も様々な事業に果敢に取り組んでいく考えであります。各事業の実施を通じ、みなさまと共にまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

（会長あいさつ）

みなさまそれぞれの立場から活発なご意見を頂戴したいと考えております。町長からも話がありましたが、特に東北が人口ビジョンについて非常に厳しい状況が現実となっています。過去10年地方創生に取り組んでまいりましたが、特に若年人口の流出、少子化に歯止めがかからない状況で、これからの取組みが非常に重要な局面に入ってきていると思います。先週福島県の審議会があり、県の場合若い女性が県外に流出する率が他の地域と比べて高いため、男性ばかりの地域が増えて結婚の機会も減り、それも少子化につながっているのではないかという分析がありました。最近は高学歴の女性が多く、自分から望む仕事、なおかつワークライフバランスをしっかりと保ちながら暮らしも仕事も両立しながら生きていきたい女性が増えている。そういう声に地方が応えきれていない、環境整備が足りないのではないかとの指摘もされています。

一方で国見町ではUターンやIターンで活躍する女性たちもいるので、ぜひそういった人達の声にしっかりと耳を傾けて何が必要なのか。やはり若者たち一人一人の自己決定をしっかりと応援しつつも、その自己決定の選択肢の一つに地方で暮らす、地元に残る、地元に戻る、地元で働くという選択肢を加えてもらうための取組みは必要です。その選択肢を作っていくことは、私たちがやるべきことだと思いますので、今日の審議会でみなさまからのそういった議論を踏まえて、さらにより良いまちづくりにつなげていければと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 審 議

① 令和7年度国見町当初予算（案）の概要について

【質問・意見】

会長

資料1の11ページは未来につながるところで、子育て応援等々だと思いますが、実は県の審議会でも話題になったのが、特に放課後の対策で子どもクラブになるのでしょうか。そこがやはり足りず、なかなか入りにくく、なおかつ入れても往復の送迎がないということで、働きたいと思ってもなかなか働けない状況ですと、ある女性委員がおっしゃっていました。それは、県というよりも市町村ということらしいのですが、そのあたりは国見町の場合、どのような取り組みをされているのか教えていただけますか。

事務局

子どもクラブのお話かと思いますが、国見町におきましても、放課後児童クラブということで運営をしています。令和6年度、今年度のクラブ利用者数は、約120名ということで、対象は小学生で、保護者が日中、仕事等で子育てをできないという方を対象にしています。小学校の児童数が276名でありますので、そのうちの約120名が、クラブを利用して利用率先率は43.5%となっています。当然ながら、低学年の利用割合が非常に大きい状況です。子どもの数は減少傾向にあるのですが、子どもクラブの利用者数は横ばいの状況になっています。施設につきましては、通常利用の定員が140名ということで設定しておりますので、まだきつきつというところではない状況になっております。

会長

送迎はいかがですか。

事務局

送迎につきましては、小学校のすぐ裏に子どもクラブがありますので、それぞれ放課後に児童が揃って、子どもクラブの方に歩いて移動します。その際は、小学校の先生と子どもクラブの支援員が、道路に立って見守りをします。距離にして50メートルほどの移動距離になりますが、そういった対応をしています。お迎えにつきましては、保護者の方にそれぞれお願いをしている状況です。

会長

利用者の保護者からのそういった受け入れを拡充してほしい、あるいは、なかなかお迎えが大変なので、そういったサービスを広げてほしいという声はないでしょうか。

事務局

先ほど定員を申し上げましたが、それを超えている状況ではありませんので、待機児童についてはありません。また、送迎についても、特段ご要望はいただいておりません。

委員

元 JA 大枝支店があるのですが、そこで発達支援のデイサービスもんもが年明けに開業したいという話を聞いたのですが、未だに開業してなくて、少し聞いたらところどころかわからないけど、許可がおりないのだそうです。利用したい方がたくさんいるのですが、どうして行政はそうなのかと話があった。私は利用者の立場ではないですが、そのような許可はなかなか出ないも

のなのでしょうか。

事務局

ご質問ありがとうございます。大枝の農協のところにもんもの事業所を昨年の夏から何回か開始しますということでお話をいただいていたのですが、町の指定ではなく、県の指定になりますので、そちらで人員の確保が難しいということでの話は聞いておりました。ただ、来年4月には解消したいという話は伺っています。

委員

資料2の70ページ児童健全育成事業の中で病児病後児童保育負担金という形で計上してありますが、この金額と実績を2年分くらい教えていただきたい。

事務局

令和6年度については262,000円の負担金を支払っております。令和7年度予算については、12,000円というところになっております。金額が大きく下がっている要因については、伊達市に委託をしているところですが、令和6年度から令和7年度で人件費の負担が大きく減ったこと、さらには、国の補助が手厚くなったということで、町負担については、来年度12,000円ということになっています。利用状況につきましては、令和6年度の現在まで利用者がいないという状況になっています。

委員

資料2の58ページ都市再生整備計画推進事業の件ですが、藤田駅前をロータリーにするという計画で、駅前は朝の時間帯、夕方の時間帯に混雑して道路に駐車するという状況なので良いと思いますが、そのそばにある民間の駐車場がこの様子ではなくなってしまうのではないかと思います。その時、民間の駐車場をどのように考えているのか、お伺いします。

事務局

この駅前整備、ロータリーの計画を今進めているところです。その中で民間の駐車場はどうするのかということですが、この駐車場につきましては、移転といいますか、場所を変えて移転させるという計画で駐車場がなくなるということではございません。

② 国見町人口ビジョン改定（素案）について

【質問・意見】

委員

結構、この数字を目の当たりにしてビックリというか、唖然としているのですが、単純に私たち若い人たちの間で話になるのが隣の桑折町が福島県内で住みやすい町、上位になっているか。町としてなぜ桑折はそれほど高いのか、どのように受け止められているのかを少し聞いてみたいです。

事務局

住み続けたい町アンケートは大東建託さんがメインとなって実施しており、中身については企業がやっているということで、それぞれ考え方などがあるのではないかと考えています。しながら、隣の桑折町でそういった数字が出てくるということは、やはり何らかの影響があるということなので、私たちとしてもなかなかすぐに順位を上げるのは難しいかと考えていますが、で

きることからやれるような形で進めていければと思っています。

委員

やはり桑折町に 2019 年から 2023 年で 85 人流れているというのは、結構大きい数字なのかとされていて若い人たちの中で、私たち子育て世代というか、PTA の保護者たちの中でよく出てきた話の一つとしては、桑折町は突然すごいことをやるよねというような意見が結構あります。例えば町の中に、グランピング施設を作って誰が行くのかと言いながらもやはり休みの日などはいちいでお肉を買ってグランピングに行くとか。あと今話が出ているのは、やはりイオンであそこにできれば、若者、子育て世代が流れそうだよねという話もあったりするので、一概に私もそれが全てだとは思っていませんが、結構、若い人たちは、目に見える新しいものや綺麗なもの、おしゃれなもの、かっこいいものどうしても飛びつきがちだと思います。先ほど、国見町内での女性の若い人たちが働き手はすごく多いということを考えて、働いている独身女性は国見町で一生懸命働くのですが、子育てで家を建てるとなったら、国見ではないよね、と出ていっている現状なのかと思うので、民間と行政で少し絡むということは難しいかもしれませんが、やはり若い人たちが、住みたい町、おしゃれな街、かっこいい町というものに少し目向けただけならいいのではないかと思います。先ほどの予算の中でも教育費が削減されているという現状もありますので、子育てがしやすい町、教育の受けやすい町というものを考えていただけたらと思います。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。確かに状況が変わってきて、今まで通りの行政運営ではなかなか難しい部分があります。いわゆる、この県北管内で移住定住の方が全体的には少なくなってきたり就労などの部分もあるのですが、もともと対象となる人がいなくなってきたという状況です。簡単に言うと、人の取り合いになっているという形になっています。その中で生き残りをかけて取り組まなければならないということで、大変厳しい状況であると考えているところです。引き続きみなさまの意見を色々と聞きながら進めてまいりたいと考えています。

委員

今回データを見せていただいて、非常に人口減少率の高い、国見町も高いわけですが、他の高いところを見ると、ほとんどの地区は条件の悪い所です。要するに、本当の過疎地域は交通の便が非常に悪かったり気候的にも厳しい状況のところが増少率の上位ですが、そこで国見町だけがぽつんと入っているという印象があるのです。国見町は町長もおっしゃるように、条件的には恵まれた場所だと思います。なおかつ、様々な施策においても、決して他と劣ることはないと思っています。子育て支援なども充実していると周りから見られているようですし、なぜなのかと、色々と話を聞いていてちょっと思いました。これは個人的な感覚ですが、桑折町の例ですと桑折町の人自分たちの町のことを自慢するのです。ところが、国見町の人というのは自慢しません。環境の問題もあるかとは思いますが、ずっと生まれ育った中で郷土愛というものが少し不足しているのではないかという印象を受けています。ということで、ハード面も大事ですが、その辺のソフト面いわゆる郷土愛をはぐくむための何か施策というものを考えていくべきではないかと思いました。

事務局

ご意見ありがとうございます。ここに住んでいて良いところだとか、おいしいものがたくさんある、歴史が深くて非常に情緒のあるところだとか、自慢できるものがあることで郷土愛が育っていくと思っています。町としてもさまざまな施策を持ってそのような状況を作り出すように取り組んでいるところです。この人口ビジョンに限って言うならば、やはり出生率、有配偶率ということで、なかなか結婚してここに住んでいる方が減少しつつあります。出産や子育てしやすいなどに重点を絞って取り組んでいかなければならないと考えおります。特効薬というものはないと事務局でも考えていますので、地道にひとつひとつ積み重ねて将来に向けて取り組んでいきたいと思っています。

委員

子どもたちが独立して結婚すると家から出て新婚生活を行うケースがすごく多いと思うのですが、そういったときに住む家を探すとなると、国見は若い人たちが入れるようなアパートなどが十分に確保されているのかと思います。自分たちが入りたいという物件がなく、他の町に行ってしまうというケースも随分あるのではないかと思いますので、その辺についてお伺いしたいと思います。町でも、町営住宅や子育て住宅などを建てているみたいですけど、そういうところもすぐに入居者が決まるような状態なのか、それともなかなか入らない状態なのかも合わせてお願いいたします。

事務局

若い子育て世帯のニーズに即した住宅というのは、現在町の中ではちょっと少ない状況です。町営住宅もありますが、やはり設備が古い、間取りが悪いということでなかなか子育て世帯の方が入らない状況です。それを踏まえまして、来年度に町有地を利用して子育て世帯のニーズにマッチした住宅を計画していきたいと考えています。子育て世帯のニーズを把握した上で、生活基盤を築いて国見に住んでもらい、若い世代の流出を防ぐ政策は重要だと考えています。

委員

人口問題について、子育て世帯では現在幼稚園と保育所が別々の場所にあり、作られた当初の人口が1万人とかで将来も人数が増えるのではないかという思いで整備されている。その規模の設備を今それぞれで使用しているのですが、実際利用している子どもは少なくなっているのです。それで一緒のところでできないかと考えている、子ども園というものか何かそういったものを作る必要があるのではないかと。また、将来的に、維持費等がかかることからすると、一日も早く一緒のところでやっていただくのがいいのではないかと。利用する子どもの年齢が違っていると別なところへ送るようになることに対する対策などを検討しているかお伺いしたい。

あともう一つは、住宅整備するのに単年度では2,200万円の予算を組まれているのですが、計画を決めて、建築となるとまた年度を越しているということになり、かなり遅れてしまうのではないかと思います。もう少しスピーディーに整備を進めていただけないかと思い、少し意見させていただきます。

事務局

認定子ども園の部分につきましては、村上町長の公約としてもございまして、次年度でまず教育と教育施設のあり方等について検討会をもちたいと思います。また、教育ビジョンの中で現在

の教育の課題に対して今後どう対応していくかということと、施設面での課題が多々ございます。令和5年度に教育施設の健全の調査を実施しましたが、いずれも劣化が進んでおります。今後、長寿命化を図って維持管理していくのか、統合化や適正規模化を図りながら、大規模改修、もしくは改築をしていくのか、そういったことを検討する時期にあるとの調査結果が出ています。そういったことを踏まえまして、教育ビジョンの中でも施設のあり方といったところを検討していく中で今ほど話しが合った認定子ども園等々についても議論をしていきたいと考えています。

委員

資料3の24ページを見ると、大玉村の女性率が高いんですね。大玉村の方に税率というか、税の話をしたら、大玉は安いから引っ越して来ないかという話がありました。では、国見は税率が少し高いのかなと私は勝手に思ったのですが、大玉村は税率が低いということで人を集めているのではないかと勝手に思っております。その辺についてお伺いします。

あと一つは道の駅のコンビニの前で朝行ったら子供たちがいました。興味津々で見ていたら、伊達の支援学校のバスが来て、そこが集合場所なのかなと。今は小さいからいいけど、だんだん大きくなった時に国見町に就労場所があるのかなと考えています。先ほども発言しましたが、もんもという発達支援の施設ができるので、それと合わせて、将来国見町で過ごすための収入手段があればいいのではないかと思ったので、その辺についてお伺いします。

事務局

大玉村の税率につきまして今把握はしておりませんが、おそらく標準税率を使っていますので、変わらないと思います。日本全国で住民税の標準税率は約10%ですが、標準税率を使っていない自治体は20ないぐらいですので、大玉村にあっても貴重な自主財源確保のために標準税率を使っていると思われると思います。

事務局

今ほど委員からでた就労施設の件については、国見町でも障がい者の方が使える就労施設ができないかということで、近隣の施設や相談支援事業所にも相談させていただいています。現時点では、利用者が少ないため国見町の利用者だけでは新しい事業所を1つ置くことができないという回答がありました。今は、国見町外の利用施設へ行っていただいているのですが、施設が足りなくて国見の方が利用できないという状態ではありません。

会長

大玉村は私の卒業生が役場で働いていたり、大玉村の議会議員をやっている女性の方が、今大学院にいて、色々話を聞くのですが、大玉村は人口が増えているそうです。1つは、原発事故で避難された方が、そのまま大玉村に家を建てて住まれた方が多いという話を聞きました。あとは、様々なマチュピチュなど国際交流や新規就農者の支援についてももちろん国見町もやっているかと思いますが、色々な挑戦をしていて元気のある村、かっこいい村というPRが上手だと思いました。確かに、立地的に非常に便利ですが、便利さなら国見も負けていないと思いますので、元気な自治体というイメージ作りがすごく上手なのかなと色々な方からのお話を聞いて思いました。

委員

先ほど、認定子ども園のお話が出たので、質問をよろしいでしょうか。今回の見直しはこの人口ビジョンだけですか。

事務局

今委員からお話があったものにつきましてはいわゆる6次総計の記載の部分になるかと思えます。その部分につきましては後ほどスケジュールでご説明しますが、今回は人口ビジョンということで、令和7年度に行う総計の中間見直しに係る基礎資料の関係についてご協議いただくということです。本格的な総計の内容について検討していただくについては、4月以降で予定しておりましたので、その時に活発な意見をお伺いできればと考えておりました。

委員

しつこいようで申し訳ないですけど、前回の審議会でも2月には改正があるという話を伺っていましたが、今回出なかったので再度お話しさせていただきます。村上新町長の公約でもあるように認定こども園は早急にお願いしたいという話を議会でもさせていただいていますが、この6次総合計画について、途中で見直されているのでこれを早く戻してほしいと私は再三言っているはずですが、国見学園構想は凍結、白紙になっているのですから、6次総合計画というものをちゃんと元に戻さないとおかしいということをお話しているのです、その見直しの時に再度検討の方を戻す方向でお願いしたいと思えます。

会長

今、皆様からいただいたご意見について、すごく重要なご指摘が色々あったと思えます。みんなが自慢できる国見町や若者が魅力を感じる国見町などの町の活力のようなものが、他と比べると少し発揮できていないのかなという印象もあるので、ぜひそういったところも含めて、今後、人口ビジョンの実現に向けてご努力いただければと今回の話を聞いていて思いました。

③ 第6次国見町総合計画中間見直しスケジュール（案）について

【質問・意見】

特になし

④ その他

【質問・意見】

委員

中間見直しのスケジュールの関係についてです。審議会の諮問については、5月下旬を予定されているようですが、そこで色々な形で議論を進められて、最終的には方針という形になるでしょうけども、全体で集まるのもよろしいのですが、前々から私が申し上げているようにぜひそれぞれの分野でワーキンググループを作っていただきたい。そうではない場合でも、得意分野や施策別に3つか4つくらいに分けて、集中的に議論していくようにしていただきたい。そうじゃないと、議論が進まず噛み合わなくなってしまうと思います。ですから、5月下旬までまだ時間がありますので、具体的な議論の進め方としての方策を再検討していただきたいので、要望として今回申し上げます。

事務局

いわゆる専門部会的な位置付けで、議論を深めないとなかなか結果が出ないという分野につきましては、必要に応じて対応していきたいと考えています。なお、説明不足で申し訳なかったのですが、人口ビジョンにつきましてはまだ確定というわけではございませんので、5月頃に予定している次回の総計本部会議及び審議会までに皆様からご意見をいただき、確定していければと考えています。

委員

今回の内容ではありませんが、国見町はごみがすごいと気になりました。今年から私も町の生活環境推進員になりましたので先進地に視察に行きました。視察先では生ごみを業者に持っていき、乾燥させて肥料にしてそれを持っていきたい人は持っていくようにしていた。また、乾燥するところはまだ空きがあるからもっといっぱいごみを集めたいという話を聞いたのでうちの町にも欲しいと思ったが、そういった業者はうちの町では周りにもないし、ダメだなと思って帰ってきました。ところが先日、ごみについての講習会があり、その際、衛生処理組合の人が来ていたので、ちょっと休み時間に視察に行ってきた時の話をしました。正式な話ではありませんが、ちょうど30年経っているので今度建て替えるのでその場所を作るのを検討してもいいという話がありました。国見町では小さい3万から10万円くらいの乾燥機を個別で買って個々の家庭で乾燥させて出すのをこれから推進していきましようということですが、婦人会で聞いたら、「そんなのは買わない」、「お金かかるのはだめ」と皆様が言っていました。それだったらやはり建て替えの今ではないかと、もしそれができるかもしれないと思うと、ぜひ工夫してやってもらいたいと思います。

会長

SDGs など循環型社会の中で、非常に注目されている取り組みだと思います。ぜひ、国見町でもということですが、いかがですか。

事務局

令和4年に環境省の調査によると福島県内で当町の1人1日当たりのごみの排出量がワースト1の報告となっています。今ほどお話がありました、視察研修でご覧になった生ごみを肥料にする施設ですが、衛生処理組合から町にお話がありませんので、存じ上げておりません。ごみ

の減量化については、できることから色々と進めており、最近では2月15日に役場敷地内で小型家電と古着の回収を行いました。昨年の11月にも行い、11月に120人、2月には160人の方が来られました。こういった部分も含めて、できることから進めていきたいと考えていますので、ご理解をお願いいたします。

委員

町の発展のために非常に重要な役割を果たすと思われるのはJRの駅です。国見町には貝田と藤田の駅があるのですが、これをもっと活用できないのか、もっと色々な形や部分使用によって、その大きな役割を果たせるのではないかと思います。駐車場の整備をしたり、タイヤの検討をしたり、割引切符などを使えるかどうかということも、大きいのではないかと考えています。実際そういったことなどをJRと協議やアイデア交換などが行われているのかどうか、町として、駅についてどのようにしてもらえるとありがたいかということを検討して、共有する場を作ってもらえないのかと思います。今まで続いていて共有されてきたかということと、今後そういった考えがあるのかをお聞きしたいと思います。

事務局

今現在、駅前広場等の整備計画しているわけですが、駅前のにぎわいの創出は重要なことだと思っております。人が集える、人が集って過ごすという空間作りも必要だと思います。これまでJRと協議したことはございませんので、そういったことも踏まえまして今計画しております駅前整備計画についてはJRとの意見交換、共有の場をもっていきたいと考えております。

委員

まちの駅構想があると伺いました。これから色々と議論して検討されていくのだろうと思いますが、これは空き店舗の活用などを考えての取り組みになるのか。あと、今古着のリサイクルを行っているということをお伺いしたのですが、その活用方法やリサイクルはどうしているのか。その2点についてお聞きしたいと思います。

事務局

まちの駅に関する点につきまして、回答します。村上町長の公約の中にまちの駅という単語が出ています。現段階で、町で具体的な構想を含めてまだ白紙の状態ということになっています。イメージとしては商店街の中に建物を新規で建てるというよりは、商店街の中にある空き店舗などを活用して、人の流れやコミュニケーション等が図れるような場を設置できないかということで役場内部でも今後検討していきたいと思います。なお、商店街の空き店舗調査などについても順次行っていき、所有者の方に売りたいのか、貸したいのか、など意向を聞きとりながら構想や運営に向けて進めていければと考えています。

事務局

古着のリサイクルについて説明不足で大変申し訳なかったのですが、町で回収しているのではなく、回収業者と契約して今年度からは古着も回収しています。その古着が回収後にどうなるのかというご質問ですが、使用できない古着については廃棄し、また、使える古着については、中古等で販売したり、海外に輸出するなど、再利用できるものはしているとのことでした。

4. 閉会